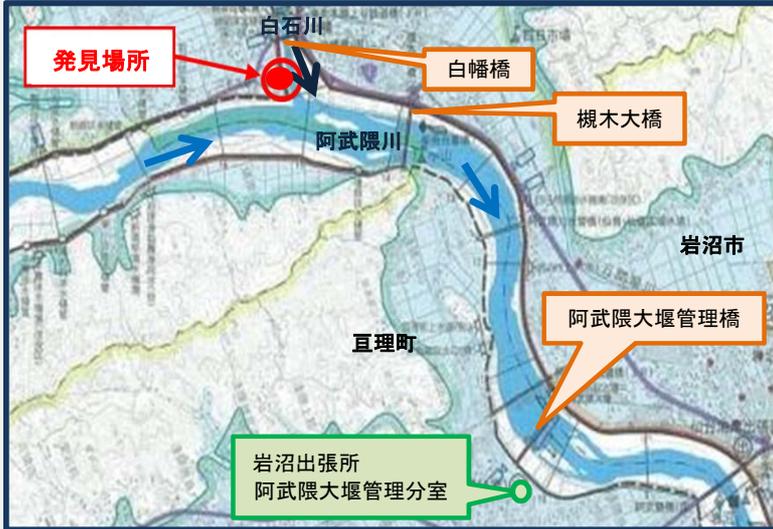


あぶたんつうしん

145号

「キツネ穴」発見!



12月3日、河川巡視中に白石川右岸(三名生排水樋管より下流40m)にて、付近を散策中の地域住民の方から情報提供があり、堤防にあげられた穴を2箇所発見しました。

12月8日に学識経験者の宮城教育大学 齊藤教授(河川水辺の国勢調査アドバイザー)と合同現地調査をした結果、穴を掘った動物は「キツネ」であることが判明しました。付近に糞も確認され休息場所として利用しようとしたものと結論付けられました。



岩沼出張所では、このような堤防の損傷により、洪水時に堤防の決壊などに至らないよう早急な埋め戻しを行い、自治体や行政機関と連携し継続的な河川巡視に努めて参ります。

また、堤防等河川管理施設の異常、変状の早期発見に努め、早急な対応を図るためパトロールを強化します。

～堤防は皆さんの安全な暮らしを守っています～

【本土キツネの生態について】

- ★人通りの多いところや犬が苦手
- ★エサとして、木の実、果実、ねずみやモグラなどの小型動物を捕食、人家のゴミを採食することもある
- ★1月上旬から繁殖期に入り出産のための巣穴を掘る
- ★糞は細長く、動物の骨や植物の種子などが混入



お願い!



堤防に穴があると、洪水時には堤防決壊に至る恐れがあるため
堤防の変状を見つけたら、ご一報ください!